

# 入曽で一番危険なのはどこ？

## ★水野(月見野)交差点(マクドナルド前)が最多

- ・交通量多い箇所、信号ない交差点で事故多発

入曽駅東口も事故が多いですが、それ以上に県道で多発しています。交差点や交通量が多い箇所でも事故が多発しており、市の計画・調査ではイオン誘致、橋上駅舎化で交通量増加が見込まれる中、無対策ではかえって危険性が悪化するのではないのでしょうか？

## 入曽駅周辺で事故多発してる箇所

2019～2021年



出典：三井住友海上 「交通事故オープンデータマップ」の図を基に作成

- 警察が集計した入曽駅周辺の詳しい事故件数とその推移や、詳しい事故発生状況はこちらをご覧ください。 →→



# 市のパンフレット 駅前のみ着目するよう誇張

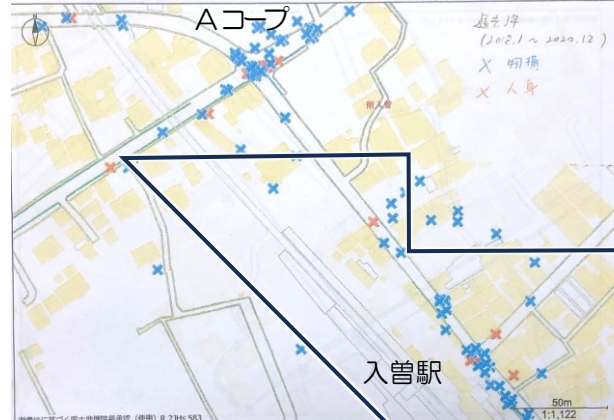
- 意図的に入曽駅前だけ切り取り
- Aコープ前でも事故多発 → 今後事故増加の懸念
- 橋上駅舎を進める世論形成に利用か？

事業推進のため狭山市が作成したパンフレット「いいりそうのまち」ですが、入曽駅前の事故状況だけ切り取っていることがわかりました。課題解決のためには、本来なら左のように入曽駅周辺全体の事故状況を把握することが重要と思いますが、事業を進めることが目的化し、世論誘導を進めるためか駅前のみ着目するよう切り取られており、大変遺憾に思います。

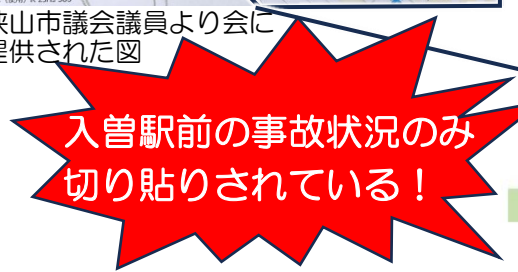
今後イオン開店により交通量増加が見込まれる中、Aコープ前や県道などで交通事故が増えることが心配されますが、市はこのことの本質から目をそらそうとしていると言わざるを得ません。

そもそもこのような形で、市民に事態を誤認させるような情報を流すのは如何なものかと思います。

↓ 2018～2020年の人身・物損事故発生場所



出典：狭山市議会議員より会に提供された図



↑ 狭山市が発行したパンフレット





## 会の要望と市の回答の概要

➤ さらに詳しい質問や、市の回答はこちらをご覧ください。  
<https://irisomachi.com/petition/answer/>



【入曽駅周辺整備事業とは?】市が入曽駅北側で進めている事業です。道路拡幅や駅前広場整備など重要な計画もありますが、橋上駅舎化は疑問の声が寄せられています。ホーム中央にある東口・西口の地上駅舎を廃止して、本川越寄り末端に橋上駅舎を造ります。

※橋上駅舎化とは単に改札口を線路上に移すことです。

### ～会の要望と市の見解～

「現在の入曽駅舎(改札口)を活かした入曽駅周辺整備を求める署名」に記載の要望事項

#### (1)入曽駅現改札口の存続、橋上駅舎化は中止

(市の見解)土地利用が進み用地確保が難しいため、早期に事業完了したい。改札口存続の要望多いことは把握しているが、駅前の歩行者など危険回避が難しくなると予想し、一か所に集約したい鉄道会社の意向もある。

#### (2)駅周辺の安全対策・利便性向上策の促進

(駅周辺の道路・通学路の安全対策:具体的には ①自動車流入防止対策、②歩道設置、③南東側ロータリー新設、④駅南側の踏切拡幅、⑤十分な台数の駐輪場確保)

(市の見解)交通規制は地元からの要望ないとできない。本事業を皮切りに必要に応じて安全対策を講じていく。現東口からAコープ付近までの歩道設置予定はない。

#### (3)東西自由通路は住民の意見を踏まえた検討

(市の見解)東西自由通路で入曽地区全体の魅力が向上する。駅周辺の調査や住民同士の検討の場を設ける予定ない。問い合わせには理解を得られるよう個別に説明を行なっている。

この他「入曽駅西口駐輪場に関する安全対策の要望」も提出しました。

### ～市長の回答の要旨～

- 1 事業費の増加は、市民の代表である市議会の議決を経て決定している。
- 2 事業内容や現在の進捗状況等は、工事状況や「入曽まちづくりだより」の発行に合わせ、直接周辺住民宅を訪問し説明する中で、事業推進について多くの方から期待と賛同をいただいている。
- 3 市議会や自治会連合会に対する説明をはじめ、「入曽まちづくりだより」の発行や市公式ホームページ等で周知を図り、窓口や電話等で事業に対する問合せに、理解が得られるよう、丁寧な説明を行っていく。
- 4 2015年の就任以来、入曽駅周辺整備について、私自身の言葉で説明をしてきたので、自明のことだと思っている。
- 5 これまでも市民の皆さんから寄せられた質問、特に貴団体からの相当数に及ぶ質問状にも、丁寧にお答えしている。引続き事業に対する理解をいただくべく努めたいと考えている。

### →市の回答に対する反論

意義や目的、緊急性について述べられていますが、これは従来から議会答弁や広報などで周知されてきた内容に終始しており、入曽まちづくりの会がこれまで行ってきた問題提起や指摘に向き合ったものではありません。特に署名の趣旨にある具体的な項目について、市の認識や見解が示されておらず、全くもって不十分な回答です。

また、西武鉄道の所有施設に対して市が全額負担する“請願駅”となる合理的な説明は最後まで一切なされておらず、市の西武鉄道に対する交渉力不足は否めません。市としての駅舎の橋上化の必然性が説明できておらず、費用の全額負担も含めて、鉄道事業者の都合を市が全面的に受け入れているようにも受け取れます。

→回答があいまいな点、不十分な点は引き続き市に回答を求めています。

御礼 ～代表からみなさんへ～ 入曽まちづくりの会 代表 田中壽雄

「現在の駅舎(改札口)を活かした入曽駅周辺整備を求める署名」は、終了させていただきます。今までご協力ありがとうございました。市民の皆様、入曽駅頭で、署名同封のお手紙で、電話・SNS等で支持するよ、頑張っている言葉とともに約3000筆の署名を預けて頂いたことに心から感謝を申し上げます。私たちの活動は、入曽地域の少子高齢化と人口減少が同時進行する中どのような地域社会を展望し、街づくりが求められているのか、入曽の未来を考えながら署名に取り組み、公開質問状で問題点を質し、方針変更含めた要望提出活動に取り組んできました。最終的には、市長および市民の代表たる議員判断となりますが、過半数の議員が市長に疑うことなく付き従う立場で、会の要求は未達成の状況です。一度決まったことを修正するこの壁の厚さを今さらながら痛感しております。私達の入曽駅周辺整備を求める署名は、本ニュースをもって一旦収束とさせていただきます。尚、入曽地域をよくする活動は今後も継続していきたいと考えています。よろしくお願い致します。

最後になりますが、今回の活動を通して市政の様々な課題に気付かせてもらいました。今後の活動については、随時、会のホームページでお知らせしていきます。関心がある方は時々ご確認くださいませ幸いです。 連絡先：入曽まちづくりの会 E-Mail: irisomachi@gmail.com 電話 090-5556-8176 松山